札幌延伸へ正念場

道新フォーラム「北海道新幹線を考える」

北海道新幹線・札幌延伸の着工の可否をめぐる議論がヤマ場を迎える中、道新フォーラム（北海道新幹線を考える＝札幌延伸への期待と展望）が4日、札幌市中央区の道新ホールで開かれた。京都大学大学院工学研究科の田中大教授が「北海道新幹線の必要性と効果」と題して基調講演した後、高橋はるみ知事らが参加、道内各地の交通政策担当者を交えたパネルディスカッションで、経済効果や利用促進、並行在来線の問題などについて多角的に論じ合った。

（コーディネーター＝菅原時康（北海道新聞編集局経済部長））

＜パネリスト＞
高橋はるみ氏（北海道知事）
高向　巌氏（北海道商工会議所連合会会頭）
中野　晋氏（五稜郭タワー常務取締役）
中川　邦宏氏（北大大学院工学研究院准教授）
大氏（京大大学院工学研究科教授）

きし・くにひろ　石狩管内浜益村（現石狩市）生まれ。北大大学院博士後期課程修了後、同院助手、英国ロンドン・サウスバンク大客員研究員を経て2008年から現職。専門は交通計画・交通工学・都市計画。道内各地の交通政策立案にかかわっている。39歳。

なかの・すすむ　東京都生まれ。国際東高卒。米ペンシルベニア州立イーストストラズバーグ大卒業後、1995年五稜郭タワー入社。2008年から現職。国際と近郊の観光関係者でつくる「指南会」会長、函館国際観光コンベンション協会理事。45歳。

たかひき・いわお　東京都生まれ。1962年東京外語大中国科を卒業し、日銀入行。日銀晋港事務所長、札幌支店長、情報サービス局長などを経て、93年に北洋銀総調役。2000年同調査役、06年札幌北洋ホールディングス会長。04年から道開連会長。71歳。

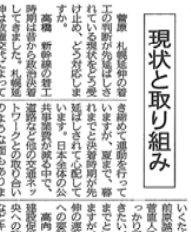
たかはし・はるみ　富山県生まれ。1976年に一橋大経済学部を卒業し、通産産業省（現経済産業省）に入省。大西洋諸国機能研究所（在パリ）研究員、北海道経済産業局局長、経済産業研修所長などを経て、2003年の知事選で初当選。現在2期目。56歳。

現状と取り組み

採算性 最も優れる 中川氏が基調講演

すっきり決定を 高橋

政治決断促そう 高向


なかがわ・だい　京都府生まれ。京大大学院工学研究科修了。建設省、国土庁（いずれも現国土交通省）、東京工大助手などを経て1988年京大工学部助手、91年助教授。2007年から現職。09年から社民党都市国政調ユニット・政策支援センター長も兼務し、環境負荷をかけない都市交通整備のあり方を提言している。著書に『鉄道新幹線開論』（共著、ビーテック出版部）など。54歳。

整備から先は？

在来線、高速道と連携を

警原　会場から「新幹線は札幌で終わりではなく、地域から、飛行機や想定外でも国策で通じ、地域経済を活性化する仕組みが欠けている」という意見が出ていました。

高橋　「地方担当はいろいろ」との意見は大変成功する。勝負の新幹線では、地元の担当がどこまで仕事ができるかが問題だ。北海道は、地元政府が新しいことを提案しているのに、北陸新幹線が通じる道筋で